



長崎県よろず支援拠点

実施機関／長崎県商工会連合会

〒850-0031 長崎県長崎市桜町4-1 長崎商工会館9階

【対応時間】平日9:00～17:00

相談会の日程など詳しい情報はホームページをチェック!!

長崎県よろず支援拠点



相談は無料ですが、相談時間確保のため事前予約が必要です。／

ヤッパ イイヨロズ
☎ 095-828-1462



長崎県の中小企業・個人事業主の皆さんへ

長崎県よろず支援拠点 2025



中小企業庁経営相談窓口

長崎県よろず支援拠点、 国が設置した経営相談窓口です。

各種専門家が売上拡大、経営改善、あるいは新規創業など経営に携わる方々の課題を共有させていただき、経験と知識を持ち寄りながら、その解決に向けた具体策をご提案します。

各分野の 専門家が対応

国家資格を持つコンサルタントのほか
マスコミ出身者やデザイナーなど、
多彩なメンバーが
ご相談を承ります。

ご利用は 何度でも無料

事前予約のうえ各相談会場に
お越しいただければ、
いつでも何度でも、
無料でご対応いたします。

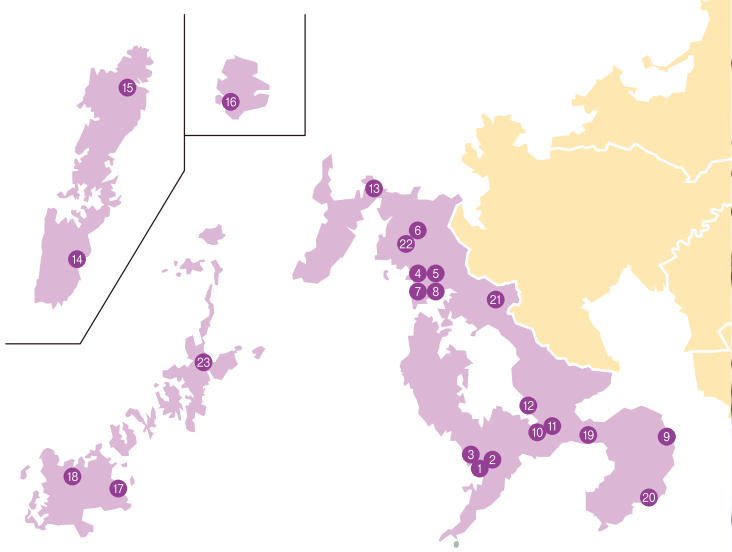
課題解決 までをご支援

業績低迷や資金繰り、
商品開発や広告宣伝等の課題を
ご相談者ごとに設定し、
その解決に取り組みます。

県内23カ所で出張相談会を毎月開催！

長崎市	① K T Nテレビ長崎	【実施】第四木曜日
	② 長崎市立図書館	【実施】第四金曜日
	③ 長崎県ビジネス支援プラザ	【実施】第四土曜日
佐世保市	④ 県北振興局天満庁舎	【実施】第一月曜日
	⑤ 日本政策金融公庫佐世保支店	【実施】第二金曜日
	⑥ 佐世保市北部商工会	【実施】第二金曜日
	⑦ 九州ひぜん信用金庫佐世保営業部	【実施】第三木曜日
	⑧ 西海みずき信用組合本部	【実施】第四水曜日
島原市	⑨ 島原市有明公民館	【実施】第一火曜日
諫早市	⑩ たちばな信用金庫本部	【実施】第二火曜日
	⑪ 諫早市立諫早図書館	【実施】第四火曜日
大村市	⑫ ミライon図書館	【実施】第一金曜日
平戸市	⑬ 平戸商工会議所	【実施】第三金曜日
対馬市	⑭ 対馬市交流センター	【実施】第二水曜日
	⑮ 上対馬総合センター	【実施】第二木曜日
壱岐市	⑯ 壱岐の島ホール	【実施】第一火曜日
五島市	⑰ 五島市役所	【実施】第一木曜日・第三火曜日
	⑱ 五島市商工会	【実施】第三火曜日
雲仙市	⑲ 愛の夢未来センター	【実施】第三水曜日
南島原市	⑳ 南島原市西有家公民館カムス	【実施】第二金曜日
波佐見町	㉑ 波佐見町総合文化会館(ウエイブホール)	【実施】第二水曜日
佐々町	㉒ 佐々町商工会	【実施】第三木曜日
新上五島町	㉓ 新上五島町商工会	【実施】第三水曜日

長崎県よろず支援拠点では、定期的に長崎県内各地23カ所の
会場にて無料の出張相談会を開催しています。



※不測の事態等により、やむを得ず日程等を変更することがあります。
相談予約の際は、事前にホームページ又は電話にてご確認ください。

創業から売上拡大まであらゆる

相談者さまの課題を

専門家24人のチームと連携機関が解決！

各連携機関

- 九州経済産業局
●長崎県
●長崎県内各自治体
●中小企業基盤整備機構
●長崎県内各商工会
- 長崎県内各商工会議所
●長崎県中小企業団体中央会
●INPIT知財総合支援窓口
●長崎県中小企業活性化協議会
●長崎県事業承継・引継ぎ支援センター
- 長崎働き方改革推進支援センター
●長崎県信用保証協会
●各種金融機関
●長崎県産業振興財団

近年、中小・小規模事業者を取り巻く経営環境は大きく変化しています。物価の上昇や人手不足・賃上げへの対応など、経営課題は一層多様化しており、さらに金利上昇の影響も想定されます。このような状況の中で、今後は経営の厳しさを増す事業者が一層増えていくことが予想されます。

当拠点では、制度の紹介や助言にとどまらず、事業者の皆さま一人ひとりの思いや課題に寄り添い、対話を重ねながら最適な支援策を共に考えることを大切にしています。こうした丁寧なコミュニケーションを通じて、事業者の意欲を引き出し、実行へとつなげる支援力を磨いてきました。

また、県内外の支援機関や他拠点と連携し、これまでに培ってきたノウハウを共有することで、地域全体で事業者を支える体制づくりを進めています。

本事例集が、皆さまの日々の経営におけるヒントや励ましとなり、新たな挑戦への一歩を踏み出すきっかけとなれば幸いです。私たちはこれからも、事業者の皆さまと共に考え、共に成長してまいります。



「初」にこだわった 情報発信で全国に販路展開



相談者概要

株式会社UA. Designer Japan

代 表 者: 高見 翔希

住 所: 〒852-8153 長崎県長崎市花丘町

メー ル: ua.designer.official@gmail.com

事業概要

ウクライナの民族衣装や雑貨を 現地から直接輸入し、販売

50名以上のウクライナ在住の職人たちが手掛けるウクライナ伝統工芸品を日本へ輸入し、販売および卸を行っている。観光客のいない現地の職人への職業支援を兼ねており、全国の催事などに出没中。在神戸ウクライナ名誉領事館の認定発注リストに登録されており、有名シンガーたちの衣装やグッズの制作も行う。



相談者の強い思いと行動力で 高い成果が実現

話題性のある情報発信と売場誘導により、売上は相談前の5倍、ホームページのアクセス数も10倍に増加した。これはメディア活用と販売を結び付けた成果である。今後は、戦禍の中で作られた商品を国内で販売し続けることで「ウクライナとの懸け橋」を実現し、卸販売やタレントへの衣装提供などを通じて新たな発信と販売力強化を進めていく。

経営者としての考え方まで学び、 大きな成長の機会に



最初に地元メディアに取り上げていただいたことが転機となり、事業全体に大きな勢いが生まれました。その後は次々と多様なメディアで紹介され、活動を通じて多くのつながりを得ることができました。これらの広がり、今後のウクライナ文化のさらなる普及につながるものと確信しております。また、事業相談では商品の値付けや名刺の記載内容に加え、経営者としての基本的な考え方まで学ばせていただき、大きな成長の機会となりました。

1 現 状

戦争で苦しむウクライナの 職人を支援することから 始まった

2022年2月24日、ロシアによるウクライナ軍事侵攻が始まった。当時、長崎大学に在籍していた留学生は、通訳ボランティアの知人とともに、戦争の影響で収入が減少した雑貨や民族衣装製造の職人を支援することを目的に事業化を模索していた。当初は地元新聞に取材・掲載され注目を集めたが、売上拡大には結びつかず、当拠点に販路開拓の相談を行うこととなった。



2 課 題

全国各地にウクライナの 「美」を届けたい

相談者が輸入販売する精巧な刺繍「ピーシフカ」は、ウクライナ職人による手作りであり、日本国内の商品とは一線を画すものである。相談者は、募金やボランティアにとどまらず、電気も通じない地域で今も高品質に製作される民族衣装や雑貨を長崎県内で販売し、継続的な職人支援につなげたいと考えていた。さらに長崎県内に限らず全国へ情報発信を上げ、販売力を高めることを目指していた。しかし当時は商品数やバリエーションが少なく、情報発信も留学生によるSNSのみであり販売は低迷していた。一方、報道は戦況一色で、ウクライナの厳しい状況ばかりが伝えられていた。

3 対 応

継続的・戦略的な メディアアプローチで 常に売場誘導を実施

最初の取り組みは地元テレビ局アナウンサーとの面談であり、戦禍の中で伝統文化を守る姿が長尺で放送され、大きな反響を呼び、他局にも広がった。ここでの支援は単なる情報提供ではなく、媒体ごとに切り口を戦略的に準備した点に特徴がある。「戦禍で活動する職人」では一時帰国した留学生が現地映像を提供し、「日本文化との融合」ではお茶文化との結び付きを紹介するなど、報道の関心に合わせたアプローチを重ねた。さらに記者クラブに限らず時事通信にも働きかけ、発信の機会に合わせてECやSNSで売場誘導を行うなど、話題と販売を連動させた。こうした戦略的な展開により都市圏での催事出店が増え、在神戸ウクライナ名誉領事館の発注会社リストにも加わり、日ウの架け橋となった。

4 支援成果

5 支援の ポイント

コンテンツの作り込みと 情報発信リソースの活用を 戦略的に組み合わせ

魅力あるコンテンツを丁寧に作り込み、限られた情報発信リソースを最大限に活用し、集客から売場への誘導までを一貫して徹底した。この二つの要素を戦略的に組み合わせ、相互に補完し合う仕組みを築いたことが、成果を確実に導いた支援の大きな決め手となった。



担当コーディネーター (CO)
鳥山 友路

AIベンチャーを 知財と法律で支援 自社技術を守りつつ受注拡大



相談者概要

株式会社LAplust

代 表 者:田中 宏樹

住 所:〒850-0051 長崎県長崎市西坂町5-16

メー ル:info@laplust.com

事業概要

2019年創業の長崎発AIベンチャー

株式会社LAplustは2019年創業の長崎発AIベンチャーで、独自の画像検査AI「LA-Eye」を用いたDX化、農業支援などの先進的なシステム開発サービスを提供している。

盤石な法務的サポートを受けつつ大手企業からの受注を実現

当拠点及び知財総合支援窓口の連携支援のもと、併行して進んでいた大手企業2社との契約交渉が滞りなく進展。システム開発後の継続的な取引関係も確保できた。大手企業との提携実現により、AI関連技術について自社の知名度・認知度の向上にもつながり、今後も農業、建設、製造など様々な業界からの更なる引き合いや発注の増加が期待される。

契約書の作成から交渉に至るまで丁寧にサポート

長崎県よろず支援拠点の制度を利用し、弁護士の谷先生にご支援をいただきました。LAplustでは、自社開発の画像検査AI「LA-Eye」を活用したPoCや共同研究開発、さらには利用許諾に関する契約を必要としていましたが、法的な専門知識がなく、大手企業と対等な立場で交渉することに不安を感じていました。谷先生には、契約書の作成から交渉に至るまで丁寧にサポートしていただき、そのおかげで建設業界大手の清水建設様や、75年以上の歴史を持つ老舗加工機メーカーであるナガセインテグレックス様と対等な契約を締結することができました。今回の成果は、谷先生のご尽力があってこそであり、心より感謝申し上げます。



現 状

自社のコアAI技術の保護と 売上拡大の両立を

AIを用いた独自の画像解析技術を強みに創業した若いスタートアップ企業。小規模な企業であるがゆえの柔軟性と迅速性で大手企業からのシステム開発の引き合いも受けるようになったが、自社のコア技術の社外流出のおそれなど知財面・法務面の懸念も抱えていた。システム開発や運用にあたって知財保護を盤石なものとしたいと、長崎県知財総合支援窓口からの紹介を受けて当拠点の知財を専門分野とする弁護士の相談を利用するに至った。

課 題

法務面を専門的に扱う 社内人材がいないことが 課題

小規模な企業ゆえに社内に法務や知財の専門部署はなく、取締役COOである相談者が社外との契約関係を担当していた。契約実務に精通する大手企業との交渉力を埋めるために法務面での知識の拡充とともに社外との取引全般に使用できる契約書雛形の整備が必要な状況であった。AIを用いたシステム開発にあたっては自社のコア技術に関するノウハウやAIの学習に用いるデータセットの保護が重要であり、こうした新しい法分野における専門的な知見に基づく助言を必要としていた。

対 応

知財総合支援窓口との連携で 事業戦略と知財保護の両輪の 確保を実現

企業としての今後の成長性と売上の拡大を確保しつつ、自社の強みの源泉となるAI技術を保護しなければならない。この2つの要請を同時に満たすため、長崎県知財総合支援窓口と当拠点との連携支援を展開。全体的な事業戦略については知財総合支援窓口の専門アドバイザーの支援を受けつつ、策定した事業戦略に沿った契約法務の支援を当拠点在籍の弁護士資格を有するCOが担当。2支援機関が緊密に連絡を取りつつ、相談への同席も併用して支援を行った。相手方企業との契約交渉を担当する相談者にとって必要となる知財や法務の知識を拡充するために相談内で適宜基本的な法的知識のレクチャーも行い、支援機関任せにならない企業の法務・戦略面のレベルアップを目指した。

支援の ポイント

知財総合支援窓口と連携した チーム体制で 事業戦略と知財保護の両立を重視

先進的なAI関連法務に対応できる専門性を有するCOを中心に、長崎県よろず支援拠点と知財総合支援窓口が連携したチーム体制で継続支援を行った。事業戦略と知財保護の両立を重視し、契約や知財権整理に関する包括的助言を提供した結果、事業者はリスクを抑えつつ成長戦略を明確化できた。複数機関の知見を結集した高度で実効性のある支援が実現できたことが、支援のポイントである。

相談者の 声



担当コーディネーター (CO)
谷 直樹



地元で働く女性を支援する 整理収納アドバイザー& 時短家事コーディネーター[®]



相談者概要

ママエイド
Mam-Aid

代 表 者: 田中 亜希子

住 所: 〒852-8134 長崎県長崎市大橋町

事業概要

地元で働く女性を支援する 整理収納アドバイザー

千葉県出身で二人の男児の母である。短大卒業後、保険会社に入社し、30年間勤務した。全国5か所への転勤を経験し、頼れる人のいない赴任先で仕事と家事・子育ての両立に取り組んだ。早期定年退職後に長崎へ移住し、自身の経験を活かして地元で働く女性を支援したいとの思いから「整理収納アドバイザー」、「時短家事コーディネーター[®]」の資格を取得、Mam-Aidを開業した。現在は長崎市内で訪問型整理収納サービスを中心に活動している。

企業案件で実績を出し、 プレスリリースを活用して認知拡大

地元企業や保険会社、商業施設などでセミナーやワークショップを継続的に実施し、親子向け講座や時短家事講座など多様なプログラムを展開した。また、「ゆうゆうtime」や長崎新聞への掲載を通じて認知度が高まり、個人からの問い合わせ件数も増加している。今後は、現在の商品メニューを柔軟に組み合わせつつ、原点である「忙しい毎日を家族のために頑張るママ」を応援する事業、さらに長崎県の取り組みの「共家事・子育て」推進に広げていく。

事業計画から会計、ブランディングに 至るまで全面的にサポート



移住した土地かつ未経験業種の起業で、ゼロからの事業立ち上げ。事業計画から会計、ブランディングに至るまで、まさに「よろず相談」をして、全面的にサポートいただきました。起業から約1年半で本格稼働ができたのは、女性起業サポーターならではの観点で、親身なアドバイスをいただいたおかげと感謝しております。

現 状

整理収納アドバイザーとして 開業したい

長崎市立図書館で開催された「女性のための起業相談」に、整理収納アドバイザーとしての開業を希望して来訪した。相談者は、自身の経験を活かしながら、日々家族のために奮闘している多くのママたちを応援できる事業を形にしたいとの強い想いを抱いていた。特に、忙しさの中で暮らしやすさや心の余裕を求める女性に寄り添い、働く女性や子育て世代の力になれる事業を展開し長崎県の地域課題解決に貢献することを目指している。



担当コーディネーター (CO)
山口 由里子



課 題

整理収納アドバイザーの 事業について

長崎県内、とりわけ長崎市内では整理収納アドバイザーが多数活動しており、限られた個人客を取り合う状況にある。長崎は生活空間に他人を招き入れる文化が十分に根付いていないため、依頼はエアコン掃除や遺品整理など必須性の高い業務に集中し、整理収納サービスの需要は限定的である。その結果、安定した収益を得るのは容易ではないとの認識がある。こうした環境下で相談者は、オンライン講座より対面でのコミュニケーションを重視し、現場で直接アドバイスをを行う活動を軸に据えたいと考えている。したがって、対面型サービスを主軸としつつ、地域特性に即した差別化と販路開拓をどう進めるかが今後の課題である。

対 応

企業案件の獲得へ向けて

COは顧客を企業系に絞り、セミナー開催を起点に販路を広げる方針を提案した。これにより個人客の取り合いを避け、価格単価の引き上げも可能となる。相談者は保険会社での長年の勤務経験があり、企業への企画提案に強みを持つことから、企業案件の獲得を目標とした。具体的には、企業主催のセミナーで信頼を得て企業経由で認知を拡大し、さらにSNS発信を活用して個別相談から新規顧客を獲得する仕組みを構築した。加えて、長崎での土地勘や住宅業界経験の不足を補うため、リフォーム会社にパート勤務し、営業アシスタントとして顧客訪問を重ねるなど、実地経験を積んでいる。



支援成果

支援の ポイント

課題であった差別化に対し、 営業力、提案力、プレスリリース、 会計面など柔軟に対応

整理収納アドバイザーが急増し、長崎市内だけでも約10名が活動する中、差別化が重要な課題であった。COは企業向けサービスやセミナーによる展開を提案し、相談者は営業力や提案力を生かして取り組んだ。支援スタイルは固定的な定期面談スケジュールを組まず、必要な時に相談予約を入れてもらう柔軟な形とした。また、会計面では宮本COがサポートし、認知拡大では烏山COのセミナー参加を通じプレスリリースの重要性を学び、自らメディアへ働きかける行動を起こした。



相談者の 声



事業者間連携により 海外進出を視野！ 販路拡大を目指す！



相談者概要

佐藤製麺所

代 表 者: 佐藤 茂樹

住 所: 〒850-0047 長崎県長崎市銭座町2-1

電話番号: 095-845-7164

事業概要

創業100年を迎える老舗製麺所。 海外展開にチャレンジ！

長崎市銭座町で大正15年に創業した老舗製麺所である。主に「ちゃんぽん麺」等を製造し、市内の中華料理店や小売店への卸売を行ってきた。売上が低迷した時期もあったが、オリジナル商品「鯨つけちゃんぽん」を開発し、令和3年度長崎県特産品新作展の長崎県知事賞を受賞した。その後も県内外の事業者と連携を行い、付加価値のあるオリジナル麺の開発などに着手、事業者間連携等により経営改善をはかってきた。海外展開も視野に売上の拡大、販路拡大を目指している。



海外での新たな販路の定着と 長崎県下広域の取組みとして

取組みの結果、第一弾として600食を納品し、現地の日系量販店での販売が始まった。イベントへの参加による広報効果もあり販売数は伸び、二回目の納品も実現した。さらに取引先からは「長崎ちゃんぽん」等既存商品の納品希望が寄せられ、新たな販路定着が期待されている。今回の小規模事業者による海外進出は、自社商品の可能性を示すとともに、地域連携を通じて「かまぼこ」「五島うどん」など長崎県産品全体に波及する成果となった。

創業100周年を迎え、 次の100年に向けた大きな一歩



長崎県よろず支援拠点と長崎商工会議所、ジェトロ長崎など支援機関の協力により、海外での展開を実現することができた。当事業所は創業100周年を迎えるが次の100年に向けて大きな一歩を踏み出すことができた。大変感謝している。今回の取組みについては是非、継続した取組みとしたい。今後も継続した支援をお願いしたい。

現 状

長崎市内事業者との連携 によるオーストラリア輸出！

相談者は自社新商品の開発及び事業者間連携によるオリジナル麺の開発等により、売上の拡大、販路拡大の営業活動を積極的に行ってきた。今回、それらの営業活動の一環として行ってきたSNS等の効果的な情報発信の成果により海外からの問い合わせが複数あった。そのため、これまで継続して伴走支援を行ってきた当拠点へ、長崎市内事業者との連携によるオーストラリアへの輸出実現に向けての相談があった。

課 題

小規模でも可能！ 事業規模に合わせた 継続性のある輸出事業！

COはまず、海外進出の可能性を判断するため、事業実績を基に相談者の状況を把握した。売上は拡大し利益も向上していることを確認し、現状での製造能力を精査したうえで、事業規模に応じた継続的な輸出事業が可能と判断、相談者と共有した。さらに長崎市内の連携事業者とも協議し、商品の受入先として日系量販店との商談が可能であることを確認し、積極的に取り組む方向性を一致させた。課題は、①輸出商品の選定、②物流手順の構築、③物流費を踏まえた価格設定、④必要申請や資料の確認、⑤現地での情報発信方法である。また、オーストラリア・ケアンズでの日本人会主催イベント情報を入手し、広報活動に活用できることも共有した。

対 応

小ロット対応可能な物流システム の構築と支援機関との連携

COは今回の輸出事業に向け、確認した課題に基づき助言を行い、相談者は速やかに準備を進めた。輸出商品の第一弾は基準に適合する「長崎皿うどん」とし、イベント参加を想定した飲食提供も提案した。物流は小ロット対応が可能な仕組みを長崎市内事業者と協議して構築し、価格設定は現地物価を考慮し利益確保を最優先とするよう助言した。申請や資料取得については長崎商工会議所やジェトロ長崎の協力を得ることを推奨した。情報発信ではケアンズのイベントを活用し、原材料小麦粉がオーストラリア産である点を訴求する戦略を提案し、併せて国内営業への展開も助言した。

支援成果

支援の ポイント

相談者の 声

「和のテイスト」で海外を意識！

今回の支援では、まず小規模事業者であっても無理なく取り組めるよう、小ロットで対応できる物流の仕組みを整え、継続性を大切にした。また、輸出に必要な各種申請や添加物規制への対応については、専門支援機関としっかり連携し安心して進められるよう配慮した。さらに、オーストラリアの物価や流通を理解した商談姿勢や、現地で求められる「和のテイスト」を意識した営業展開を心がけることをポイントとした。



担当コーディネーター (CO)
中野 幸浩

事業承継を見据えた挑戦！ 酪農家が挑む6次産業化新ブランド



担当コーディネーター (CO)
古澤 高志



現状 漠然とした将来への 経営不安を感じての来訪

酪農事業を営む中で将来に漠然とした不安を抱いていた相談者である。いずれは子どもに事業を承継したいと考えていたが、牛乳消費量の減少や燃料・飼料価格の高騰といった要因により、現状では安心してボタンタッチすることが難しいのではないかと感じていた。具体的に何から始め、どのように事業を広げていけばよいのか答えを見出せずにいたところ、当拠点の他業種相談者からの紹介を受け、出張相談会を訪れることとなった。



課題 安定した状態での 事業承継を模索

相談者は酪農業の厳しい環境に不安を抱き、安心して子どもへ事業を承継したいとの想いを持っていた。そのため、事業状況や今後の意向についてヒアリングを行った。牛乳消費量の減少に加え、燃料や飼料価格の高騰で採算性が悪化し、経営環境は一層厳しい。現状では生乳を地域の酪農協に出荷し、他の酪農家の生乳と混ぜられて流通しており、自社オリジナル牛乳として販売することはできていない。将来的には自社で価格や販売方法を工夫できる独自商品を製造・販売したい意向を持つが、億単位の設備投資が必要で、現時点での実現は難しい状況である。

相談者概要

高原ファーム

代表者: 高原 啓造
住所: 〒859-1504 長崎県南島原市深江町丁5199
電話番号: 0957-72-2485

事業概要

酪農家数が減少するなか、 地域に根差した創業50年の酪農業

長崎県南島原市に位置する創業50年の酪農業。現在は2代目が乳牛約200頭を飼育、搾乳した生乳を地域の酪農協へ出荷している。高齢化や後継者不足で全国的に酪農家数が減少するなか、地域に根差し、安心・安全な生乳を提供し続けている。

販売開始6ヶ月で2,600個を販売、 地元島原を代表するご当地アイスへ

「高原ファーム ミルクジェラート」は地元素材を用いたご当地アイスとして認知度を高め、宿泊施設や飲食店、土産品店、フェリー売店など十数ヶ所に販路を拡大した。販売開始から6か月で約2,600個を売り上げ、地域のヒット商品として定着したことは大きな成果である。今後は、ふるさと納税返礼品としての展開や、地元菓子店とのコラボによる新商品開発を進め、自社ミルクブランドの確立へ向けた取り組みを加速させていく。

自社だけでは難しかった取り組みで 大きな一歩を



酪農業の将来に対する漠然とした不安から相談を始めましたが、具体的な行動の助言や目標設定など、自社だけでは難しかった取り組みに伴走支援いただき、大きな一歩を踏み出すことができました。今後ともご支援のほどよろしくお願いします。

対応 ジェラートで 自社ブランド化を始動

支援方針は、自社ブランド確立に向けた段階的戦略を描くことであった。まずは生乳を外部加工業者へ委託し、ジェラートや菓子類として製品化することで新たな収益源を確立することを起点とした。食品メーカー出身の實亀COが紹介した委託先の協力により、生乳の加熱殺菌からジェラート製造まで一貫加工が可能となり、早期の商品化を実現できた。販売戦略では、ギフト需要や店舗での棚占有率を考慮し、島原半島産素材を用いた「ミルク」「イチゴ」「黒ごま」の3種を展開。パッケージには乳牛のイラストを配し、ご当地性と新鮮さを直感的に伝えることで、土産需要や家庭向けギフトを的確に狙った。



支援成果 消費者に届きやすい ブランド展開

相談者は、販売価格が1個450～500円と市販品より高めになるため、当初は高級感あるパッケージを望んでいた。しかし「高原ファーム」としてのブランド展開や、ご当地商品としての販路拡大を考慮すると、地域性や親しみやすさを前面に出した方が消費者に届きやすいと判断した。そこで観光客やファミリー層が手に取りやすいよう、地元らしさを伝えるご当地感あるデザインを提案した。



専門家紹介

相談者様の課題を一緒に解決する各分野の専門家です。

各分野の専門家によるチーム支援。 何度でも、とことん相談対応いたします。

経営全般



團野 龍一
Danno Ryuichi
■中小企業診断士
■PBコンサルティング代表

長崎県中小企業再生支援協議会の事業や公的機関の専門家派遣事業等で、数多くの中小企業を支援してきました。その経験を生かしつつ、経営者の皆様とじっくりお話して、様々な可能性を引き出せるように熱意を持って支援します。

広報／販促／販路開拓



烏山 友路
Karasuyama Tomomichi
■広報・販売促進
■販路開拓・ビジネスマッチング
■フラコミュニケーションズ(株)代表取締役

売上げアップにつながる販売手法、販路拡大につながるビジネスマッチングなど事業者様の課題解決に努めます。また、広告会社等で経験したプロモーションや課題解決の手法、情報発信の手段など広報戦略のご相談にも対応しています。

デザイン戦略／商品企画



古澤 高志
Furusawa Takashi
■デザイナー
■6次産業化プランナー
■(株)デザイン・スーパーマーケット代表取締役

「経営課題をデザイン思考で解決する」をコンセプトに、商品の企画からパッケージデザイン、そして販売促進や販路開拓にいたるまで、トータルでご支援させていただきます。「デザイン戦略」という視点で売上向上をお手伝いいたします。

経営全般／IT戦略



伊藤 壮平
Itoh Sohei
■中小企業診断士
■ITコーディネータ
■コンサルエンツァ・ガーディナツィオ代表

企業での店舗運営業務、Web制作業務、システム構築業務、スマートフォン活用業務等を経て、診断士として独立。IT活用・DXによる生産性向上やデータベース、セキュリティ、またWeb・SNS・EC・動画等の活用を中心に、経営支援・創業支援に携わっています。

財務／資金繰り／融資



西村 宏史
Nishimura Hiroshi
■財務アドバイザー
■資金繰り・融資・補助金申請支援

地域金融機関で約20年、中小企業の融資業務や経営改善業務に従事してきました。事業者の皆様と一緒に知恵を絞り、自身が経験してきた経営改善業務や補助金支援業務などで事業者の皆様のお力になれるよう努めてまいります。

税務全般／財務／会計



米倉 伸二
Yonekura Shinji
■税理士

現在、佐世保市で開業している税理士です。自らの経験を基に、主に障害福祉サービス事業、飲食関係事業の立ち上げ・運営に多く携わっています。会計・税務に限らず資金繰りや人材確保、マーケティング等、包括的な開業支援及び開業後の運営支援を行います。

広告戦略／ブランディング



高橋 伸幸
Takahashi Nobuyuki
■プランナー／コピーライター
■高橋広告研究所代表

長崎において18年に渡り広告業に携わっています。グラフィックを中心とした企画・立案からデザイン・制作の他、コピー・取材・ライティングなど文字に焦点をあてたアプローチも行い、多角的な視野で主にアウトプットのお手伝いをします。

ホームページ作成運営／各種デザイン



小山 貴之
Koyama Takayuki
■ホームページ／SEO／EC
■各種デザイン
■TYK Studio代表

ホームページなどのデザインおよび制作に携わってきた約20年の経験をもとに、会社やお店の強みや魅力の発掘・アピール、そして集客や集客の方法を、一緒に考えさせていただきます。ECサイト構築や各種オンラインサービスに関するご相談も歓迎します。

女性起業支援／SNS集客／売場陳列



山口 由里子
Yamaguchi Yuriko
■産業カウンセラー
■一級販売士
■整理収納アドバイザー2級

長年創業支援に携わり、創業時の「何から始めたらいいの？」から事業計画策定、補助金サポートまで全般的な支援を行っています。イベント企画・集客・広報などの業務経験をもとに、事業者の皆様「強みを生かした経営」をお手伝いします。

経営全般／資金繰り／コンテンツマーケティング



池田 巧
Ikeda Takumi
■中小企業診断士
■調理師
■キャリアコンサルタント

経営計画の策定支援、複数企業コラボの販売企画、経営セミナー等の研修講師、クラウドファンディングや助成金の申請など、多様な経営支援事例を経験し、MVVやビジネスモデル等の経営上流からアクションプランまで全体最適を意識した経営支援を心がけています。

経営全般／資金繰り／財務



宮本 咲子
Miyamoto Sakiko
■中小企業診断士
■株式会社TAMA
アカウンティング所属

2022年中小企業診断士登録。会計事務所の事務員として記帳作業、決算業務補助、各種補助金相談などに従事しています。地道な経理業務は事業計画書の作成や補助金の申請などでも欠かせない要素です。事業の様々なフェーズでサポートができたと思っています。

経営全般／検査・分析／経営効率



平田 秀一
Hirata Shuichi
■中小企業診断士
■技術士(環境部門)
■エネルギー管理士

検査機関での長年の業務経験から、安心・安全の訴求や差別化を図るツールとして検査・分析(食品検査・水質検査・環境検査)を活用し付加価値を高める取り組みを支援します。また、省エネやマネジメントシステム構築支援による経営効率化をサポートします。

販売戦略／商品開発／売場改善



中野 幸浩
Nakano Yukihiro
■食のプロデューサー
■調理師
■中野ユキヒロ商店代表

「食流通」の現場で35年以上、業務に従事。そこで培った農業・水産業等、一次産業を含む、各種事業者のみなさまとのネットワークは、私のなよりの財産です。九州各地で取られる具体的な事例をご紹介しますながら、より実践的なお取り組みをご支援いたします。

セールスライティング／プレスリリース



竹内 章
Takeuchi Akira
■広報コンサル／ライター
■ツムギヤ代表

元新聞記者。専門分野は、売上増につながる文章の書き方、マスコミ向け広報依頼文(プレスリリース)活用法などの広報。教科書通りではない実践的な提案を心がけています。「お金を使わずにできること」がたくさんある、ということをお伝えできればと思います。

法律／知財



谷 直樹
Tani Naoki
■弁護士(長崎県弁護士会所属)
■長崎国際法律事務所代表

地元企業のみならずお気軽に相談できる「かかりつけの法律専門家」として、経営をおこなっていくなかで出てくる法律的な課題の解決をお手伝いします。英文契約書のチェックなど国際的な案件や著作権・商標など知財に関する相談もお任せください。

マーケティング／セールスプロモーション／DX



奥村 なおこ
Okumura Naoko
■マーケティングコンサルタント
■DX・デジタルツール導入支援
■合同会社エリオドール代表

外資系ソフトウェア企業、広告制作会社、通信企業などでの経験を経て独立。現在は、マーケティング戦略の立案から実行、DX推進のサポートまで、企業の課題解決に伴走しています。

経営全般／創業支援／事業計画



小竹 晃之
Kotake Teruyuki
■中小企業診断士
■日商簿記1級
■株式会社グロユニット 代表取締役

限られた経営資源だからこそ、無理のない現実的な事業計画作りとその柔軟な実行が大切だと考えています。地に足のついた実感できる成果を創り出すため、お話をしっかりと伺い、一緒に考え、共に前進していければと思います。

販売戦略／売場改善／商品設計



森田 優子
Morita Yuko
■販売戦略アドバイザー
■地域づくりコーディネーター
■Int Add works(株)代表取締役

(株)イズミ(ゆめタウン運営)に20年勤務。中でも500社ものテナント運営を担当し、衣住食サービスの売上拡大・店舗運営改善のノウハウを活かし提案サポートします。自身が農家であることから、食に関わる分野(飲食・食品・一次産業)を得意としています。

経営全般／事業計画／補助金活用



佐野 麻衣子
Sano Maiko
■中小企業診断士
■社会保険労務士

経営全般のご相談や、補助金申請や融資のための事業計画の作成についてのアドバイスをしています。今後の経営の方向性でお悩みの方、経営を良くしたいとお考えの方、経営を数字から考えたい方など、小さなお悩みから、お気軽にご相談ください。

新規事業／新商品開発／PR戦略／事業承継



伊東 直哉
Ito Naoya
■ビジネスデザイナー / 事業承継・M&Aエキスパート
■(株)connne代表取締役

新規事業や新しい商品・サービスの仕組みづくりからPR戦略、プロジェクトの全体管理、財務・ファイナンスのコンサルティング、事業承継・M&Aのアドバイザーなど、経営の入り口から出口までのサポートを行っています。あなたのアイデアと一緒にカタチにしませんか？

商品開発／販路拡大アドバイザー



寶亀 真佐儀
Houki Masanori
■食品プランナー
■株式会社トーヨー顧問

食品製造業・総合食品卸業勤務。在職中は九州大手量販店本部担当および商品企画室、商品開発に従事。在職中に得た経験を生かし、特に小売店についてはGMS・SMとCVSの本部担当した経験を「販路拡大及び商品開発」の指導に活かされたいと思っています。

経営全般／事業計画／IT戦略



福永 洋
Fukunaga Yo
■中小企業診断士
■ITコーディネータ

IT業界でのシステム開発業務や研修講師を経て、令和5年に中小企業診断士の登録をしました。ITツールを活用した業務効率化の支援、補助金・融資のための事業計画作成、経営全般の相談などに対応しています。お気軽にご相談ください。

営業戦略／価格転嫁／創業



長岡 克晋
Nagaoka Katsuyuki
■中小企業診断士
■MBA

製造業での実務経験とMBAで培ったアカデミックな知見の両輪で、長崎県の事業者の皆様のご発展を力強くサポートいたします。一社一社の課題に寄り添った明日からできる実践的なアドバイスで貢献してまいります。

人事戦略／採用・定着支援／人事労務管理



山本 遥
Yamamoto Haruka
■社会保険労務士
■人事戦略プロデューサー
■はるか社会保険労務士事務所代表

人事制度や労務管理にとどまらず、経営視点で組織全体を見渡し、社長のビジョンを“現場で機能する仕組み”に落とし込みます。そして、社員が会社のファンになるような組織づくりを、人事の力で実現する。そんな伴走者でありたいと考えています。